

港湾工事における大規模仮設工等に関する検討方針（案）

1. 施工事例を踏まえた今後の検討課題

（１）浮体関連

台船等に搭載したケーソン・ジャケット等の運搬における浮体の安全性の検討
長距離曳航時の浮体の安全性の検討
ケーソン浮函時・曳航時・据付時の安全性の検討
沈埋函沈設時の安全性の検討

（２）架設関連

鋼構造物等の吊り上げ時の変形等への対策の検討
ケーソン吊降ろし時・曳航時・据付時の安全対策の検討
高さ制限のある現場での設計・施工方法の検討
複数の起重機船による同時架設の安全対策の検討
架設機材の安全性の検討
セル等の仮置き時の安全対策の検討

（３）土留・基礎工関連

仮設防護矢板等の設計の考え方の整理
施工段階で外力が変化する場合の土留め等の検討
試験施工の規模の設定の検討
仮設物等の挙動を把握するためのモニタリングシステムの構築
近隣住民・近接構造物に配慮した設計・施工方法の検討
土質調査等の事前調査の項目選定及び調査範囲等の設定

（４）共通事項

仮設工の設計・施工に当たっての基本的な考え方、安全率の考え方の整理
フェール・セーフ、リスクマネジメントの考えを取り入れた設計・施工方法の検討
施工時と完成時に作用する外力が異なる場合の設計・施工の考え方の整理
（その他）
設計者、施工者、発注者間の情報共有
若手技術者の技術力向上に資する対策
検討結果の港湾関連の基準類への反映
仮設工等に関する受注者のノウハウと技術提案事項の整理

2. 留意事項の整理に当たっての検討方針案

港湾工事の大規模仮設工等における安全性向上に関する設計・施工の技術的な検討に当たり、施工事例やアンケート結果を参照しつつ、以下のような観点から検討課題の抽出・留意事項の整理を行う。

(1) 他基準や他のマニュアルを援用する場合の課題・留意点

- 他基準で想定されている構造物の規模
- 他基準で想定されている外力等の条件
- 他基準の適用可能範囲の考え方 等

(2) 施工過程を考慮した設計のあり方に関する課題

- 標準的な施工方法の考え方
- 施工中の外力(安全率)等の設計条件の考え方（検討しておくべき施工段階他）
- 施工上の制約への配慮 等

(3) 施工・施工管理のあり方に関する課題

- 管理基準の考え方（レベル設定の考え方他）
- 計測施工の方針検討（情報化施工や IT を活用したシステムの利用検討他）
- 対策工法の事前想定（リスクアセスメント他） 等

3. その他